

28	スポーツ推進本部	スポーツ施設の整備・運営
事業概要	スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、都民の心身の健全な発達に寄与することを目的としてスポーツ施設の整備・運営を行っている。	
これまでの経過	スポーツ施設等の整備 東京 2020 大会に向け、アスリートにとって最高の競技環境を提供するとともに、運営がしやすく、観客が快適に観戦できるよう都立スポーツ施設の整備を進めてきた。その他、既存の施設も含め、アクセシビリティの確保や再生可能エネルギーの導入等の取組を進め、大規模スポーツ大会等の開催にふさわしい施設としてバージョンアップを図っている。 1 アクセシビリティの確保 「東京 2020 アクセシビリティ・ガイドライン」をもとに、障害者や専門家の意見等を聴取する「アクセシビリティ・ワークショップ」を開催し、会場整備に反映 また東京 2025 デフリンピックの会場となった施設には、光警報装置等のアクセシビリティ設備を設置を拡充 2 再生可能エネルギーの導入 「エネルギー基本計画」や「省エネ・再エネ東京仕様」等の全庁方針を踏まえ、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーを積極的に導入し、東京体育館に Air ソーラーを設置 3 大会後の主な施設整備 ・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館の改修（令和 7 年 7 月リニューアルオープン） 施設老朽化、アクセシビリティ・ガイドラインへの対応として改修工事を実施 ・東京辰巳アイスアリーナの整備（令和 7 年 9 月開業） 東京辰巳国際水泳場を都立初の通年アイスリンクとして再整備 都政課題への対応 1 暑さ対策 アスリートや都民に安全なスポーツ環境を提供するため、WBGT 測定器やアイスバスなどの暑さ対策備品を施設に配備 2 女性のスポーツ実施の推進 乳幼児を持つ女性も安心して施設を利用することができるよう、授乳室の整備を促進	

現在の進行状況	スポーツ施設等の整備 1 アクセシビリティの確保 東京 2025 デフリンピック会場以外の施設にもアクセシビリティ設備の拡充に向けた各施設のニーズ調査と導入工程等を検討 2 再生可能エネルギーの導入 再生可能エネルギーの拡充をすべく、舗装型太陽光発電設備等の導入に向けて設計を実施 都政課題への対応 1 暑さ対策 ソフト面での暑さ対策に加えて、ハード面での暑さ対策を進めていくため施設特性を踏まえた条件整理を実施 2 女性のスポーツ実施の推進 授乳室が未整備の施設にブース設置を行うための、施設へのヒアリング等を実施 スポーツ施設の戦略的活用 令和7年3月の「東京都スポーツ推進総合計画」では、様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営について公表した。東京 2020 大会を契機に、整備・バージョンアップをしてきた都立スポーツ施設を適切に管理運営し、利用促進を図るとともに、各施設の特性を生かし多様な価値を提供することで、これらの施設が持つポテンシャルを最大限発揮していくことを目指している。 令和7年度からは、企業などへのアプローチにより「TOKYO スポーツ施設コンシェルジュ」の発信力を強化し、18 施設の一体的なプロモーションを実施するとともに、スポーツ中継の配信や人気コンテンツとのコラボ企画の展開など、多様なコンテンツの提供を通じて、18 施設の認知度向上・利用促進につなげていく。
----------------	---

